

「基元節1周年特別精誠」



私たちは許されて、昨年の基元節に御父母様から天一国の国民の立場をいただきました。そして、今年は一國の真の主人としての祝福を再度お母様からいただいて出発しております。人間に責任分担を与えた神様の目的は、神様の創造性に似ることです。天の父母様の創造性に似て、宇宙の主人になる資格を与えるために、神様は責任分担を人間だけに与えました。天一国の真の主人となる為にも父母を解放していく私となっていかなければなりません。

基元節1周年までに祈りの精誠と訓誥を捧げながら、真の父母様の勝利圏を共鳴して一つとなっていくことが願われています。本来は基元節を迎える基準は霊の子女を立て、新氏族メシヤの基台を立て、そして全人類が共に基元節を迎えていかなければなりません。縦的な摂理においては、完成・完結・完了していきました。これは天一国の始発であり神様の祖国の出発であります。これを横的に展開していくために私たちが新氏族メシヤを果たしていかなければなりません。如何に真の父母様のみ言と心情に生きる私たちに成れるかです。

基元節の天一国時代は、神様直接主管圏の本然の心情で歩む時であります。しかし、私たちの墮落性ゆえに天の父母様が入ることが出来ません。天の父母様が入っていく為の生活が、訓誥生活、為に生きる生活、伝道生活であります。真の父母様に侍る忠孝の生活が原理的な生活です。原理的に生きれば発展し、神様の祝福を受けていきます。礼拝を捧げる、十一條を捧げる、これも侍る生活です。時の十一條を捧げる生活が、一日3時間の奉仕または伝道活動をしていくことです。所有の十一條が十分の一を捧げることです。これは総収入の十分の一を捧げることであり、公金です。神様の三大祝福を実現する基台であります。これらを意識して歩いていく所に、神様も役事していかれます。

真の父母様の願いに生きて、天の祝福を受けることができるように、基元節1周年までに天に喜びをお返ししていきけるように精誠を捧げていきましょう。



本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、京都教区祝福式

日時:1月26日(日) 14:00～
場所:京都教会

3、京都を愛する書写の会

日時:1月28日(火) 10:30～
場所:京都教会

4、日本文化講演会

日時:1月29日(水) 10:30～
場所:サン・アカデミー京都

5、2014年度壮年総会

日時:2月1日(土) 20:00～
場所:京都教会

6、京都セミナー(二日修練会)

日程:1月25日(土)・26日(日)
場所:サン・アカデミー京都

【1日目】13:30～19:00 (13:00受付)

【2日目】10:00～16:00 (9:30受付)

7、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所:サン・アカデミー京都

8、教区全体特別精誠祈禱会

毎週金曜日 21:00～ 場所:京都教会

9、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会

日程:2/6(木)～2/11(火)、2/20(木)～2/25(火)

10、清平修練会

1/24(金)～1/26(日)、2/1(土)～2/3(月)

☆ 2月は、霊肉界家庭出発修練会が行われます。

霊肉界家庭出発修練会:2/1(土)～2/3(月)



【年頭標語】

『창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는
천일국의 참주인이 되자!』

『創造主 天の父母様に似た 真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!』



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神靈協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel: 075-313-0539 / Fax: 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: <http://www.uckyo.org/>

式次第



司会者：高木実

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教 映像「2014年年頭メッセージ」		
		徳野英治会長
※讃 頌 聖歌 2 番	全 体
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

真のお母様は、「お父様のみ言は原石です。原石は磨かないと宝石になりません」とおっしゃいます。それがまさしく天一国経典『天聖經』です。私たちが、そのみ言のごとき姿になることを願い、『天聖經』に書かれているごとく生活をするように」ということです。

毎日、天に報告し、天が共に働いてくださる自分となることです。そのために家庭で毎日み言を訓読し、一日を出発するようにしてください。子供たちも一緒に訓読することが重要です。

そして、このみ言を万民に伝える責任があります。日本の1億2700万人に、世界的には70億人に対して伝える責任があるのです。

また、韓国語を学ばなければなりません。そして日本には母国の使命があるので、世界平和実現のために貢献することが願われています。そのためには感謝と悔い改めの生活が必要です。感謝の心で生きること、周りが美しく見えるし、幸せになることができるからです。

さらにお母様は、「環境創造」という内容を強調されています。子孫のための環境創造です。み言を伝えることで、天の環境を創造していくのです。私の兄弟姉妹、国家や隣人を愛で抱くことが、結局、伝道になるのです。

統一運動

足利教会献堂2周年および自叙伝看板除幕式を開催

1月11日(土)午前10時過ぎから栃木・足利教会において、徳野英治・日本統一教会会長夫妻をお迎えして、「足利教会献堂2周年記念集会および文鮮明先生自叙伝看板除幕式」が行われました。

この看板は、足利教会玄関前にある駐車場の屋根側面の3面に全長60mにわたって設置され、教会に面する国道50号線からもはっきりと目に入るように掲げられています。徳野会長の祝禱に続き、テープカットがあり、続いて、合図とともに看板に掛けられた横長の白い幕から垂らされた紐が引かれると、10mの高さから幕がきれいなびきながら落ち、自叙伝の看板が感動的にお披露目されました。

第二部は、足利教会礼拝堂で献堂2周年記念集会が行われ、勝海久美子婦人代表の報告祈禱に続き、足利教会の歴史を紹介したスライド上映。足利教会婦人部によるコーラスが披露されました。

次に、芳賀幸一・足利教会会長が教会献堂にいたる経緯を説明。続いて、宋峯圭教区長、南昶卓地区長、徳野久江夫人による挨拶の後、徳野会長が特別メッセージを語りました。徳野会長は時にユーモアを交えながら、文鮮明師ご夫妻との交流を含めた自身の体験談を情熱的に話し、参加者を激励しました。特に、韓国語の習得について、「真の父母」(文鮮明師ご夫妻)の言語として、最高の精誠と決意を持って真剣に取り組むことを何度も強調しました。

徳野会長のメッセージの後、足利教会の婦人による祝歌、万歳三唱、大抽選会と続き、最後は参加者が外に出て、2階の踊り場から徳野会長夫妻による飴まきが行われました。

